



【発行所】東京理科大学新聞会 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 1丁目3番地2号館2515部室 E-mail tuspress@gmail.com Website http://tuspress.jp Twitter @tuspress

編集長 青木 紀裕 デスク 進藤 剛志 露口 博貴 木下 天音 秋本 篤弥 編集員 川崎 雄大 小林 明雄 馬場 美功 福田 未蘭 保泉 里名 村 朋花 村上 美幸

ミスコン - 理科大決定! !



▲グランプリを受賞した大垣翔太郎さん

Q. 最後に一言メッセージをいただけますか。 ただただ、ありがとうございます！

Q. 受賞の喜びを最初に伝えたい人は誰ですか。 サークルの仲間や高校時代の友人をはじめとした応援してくださった人々全員です。 欲張りかもしれませんが(笑)

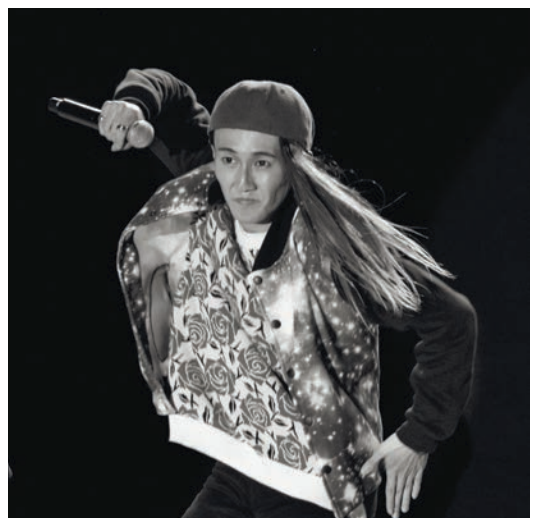
No.5 グランプリ 大垣翔太郎

Q. ほかの候補者たちが涙を流しながら今までの活動について振り返っていたのに対し大垣さんは顔色を変えていなかったので見えてきたところはどうだったのでしょうか。 実際、かなり泣きそうになっていましたよ(笑)でも、ほかの候補者たちから「大垣は一番泣かなさそうだな」と言われていたため絶対泣かないと意地でこらえました。 本当は最初の登場の時に聞きなれた仲間の声を耳にした瞬間、すでに涙腺が緩んできて目に涙をためていました。 でも、僕は「面白くて笑って元気が出るステージ」を目指していたので気づかれないように頑張りました。

Q. 特技披露ではかなりクオリティの高い歌とダンスで会場を沸かせました。どのくらい練習されたのでしょうか。 今回は「自分が楽しんで作り上げることのできるステージ」を目指しました。 ですが、ダンスに関しては、ぎりぎりまでメンバーを募っていたので練習を始めるのが直前になってしまいうというアクシデントがありました。しかし、それを

Q. フィナーレでは人一倍涙を流していましたが、その理由は何でしょうか。 ミスターコンの活動を候補者6人仲良くアットホームに行っていたので、その集まりがなくなるのがとても悲しかった。 ミスターコンに出場して苦労したこと多いけれど彼らのおかげで素晴らしい活動だったと締めくくれるのでこれで終わりだと思つて涙が止まりませんでした。

準グランプリ No.2 松村心博



▲パフォーマンスをする松村心博さん

Q. ミスター理科大準グランプリ、DHC賞のダブル受賞となりましたが、お気持ちはいかがでしたか。 グランプリを目指していたので、正直とても悔しかったです。でも、大学時代の思い出として語る事ができるエピソードを作ることができたのはとてもうれしいです。 家族にはもちろん感謝ですし、自分とは直接の関係がないのに応援してくれた人は本当にありがたく思っています。 もちろん受賞はうれしいですが応援してくれた人々への申し訳なきもあります。

形あるものが美しい。形なきものの方が美しい。「美しい」の認識は人によって違ふだろう。人はいつまでも美しくいたいものだ。常に美しくいるにはどうすればいいのだろうか。多くの人が気になることだと思う。美しくいたいという意識は時に美しくなければならぬという認識に変わらなければならない。人はあるがままに生きている。自由で生きていけばそれでいいのだ。そんな思いを抱きながら私は生きていきた。今回のミス・ミスターコンテストを見てみよう。

どちらの候補者も「美しい」人ばかりだ。外見が「美しい」人は内面も「美しい」のだろうか。私は外見も内面も「美しくない」かもしれない。せめてどちらかは「美しく」なるよう努力しながら生きていきたい。「美しい」存在はそんな努力をさせてくれる非常にありがたい存在なのだ。「美しい」ものは人に希望も与えてくれる。「美しい」ものに触れる機会を増やすことはとても素晴らしい、そして自分も「美しく」なろうと心の底から思わせてくれる。この新聞もとても美しいものだと思つて、この理大祭も、皆さんにとつて「美しい」思い出になることを私は祈っている。(ロバ・ボージョレ)

ミスコン 事前優勝予想 1位 鈴木りかさん 2位 牧村里奈さん 3位 倉本莉奈さん

お部屋探しは ミニミニ 飯田橋店へ